

## アルザス史4 プロイセンの勃興と普仏戦争 最後の授業

志村 良知

1813年、ナポレオン戦争を収束するウィーン会議でアルザスの帰属は議題になって大いに揉めたもののフランスに残ることになる。

アルザスの東、群雄割拠の地、と言えば聞こえが良いが、当時の勢力地図を見ると笑い出したくなる位の小国乱立だった現在ドイツと呼ばれている地域では、ヴィルヘルムⅡ世のもと、鉄血宰相ビスマルクのプロイセンが、普墺戦争でハプスブルクに勝つなど着々と勢力を伸ばしフランスにあらゆる面で真っ向から対抗できる「北ドイツ連邦」を形成していく。

対するフランスは共和制だ王制だと揺れ動いた末、1852年「偉大な伯父の小さな甥っ子」ナポレオンⅢ世が即位した。しかし、失政続きで人気回復を狙って極端な外征政策をとる。そこに起きたスペイン王位継承問題。それを「喧嘩上等！」とフランスとやる気満々のビスマルクが受けて立って挑発し、1870年7月普仏戦争が起きる。ビスマルクは、成上りの新教北ドイツ連邦に属すのをよしとしなかった名門の旧教国バイエルンなどの大王国までも籠絡しており、旧教の諸王国はナポレオンⅢ世の期待に反してプロイセンに味方する。

戦いは緒戦こそ互角に見えたが、すぐに列車で大胆に機動するモルトケ指揮のプロイセン軍が圧倒し始め、9月にナポレオンⅢ世が北フランスのセダンで捕虜になり皇帝廃位、早々と第二帝政は瓦解してしまう。翌1月首都パリを攻める砲声の中、ベルサイユ宮殿でヴィルヘルムⅡ世のドイツ皇帝推戴式を敢行するなど、結果としては、鎧袖一触で宰相ビスマルクと参謀長モルトケという最強コンビのプロイセン（ドイツ帝国）の圧勝で終わる。

アルフォンス・ドーデの『最後の授業』は1873年、毎月曜日の新聞に連載の短編小説集『月曜物語』の一つとして発表された。舞台は普仏戦争終結間もない1871年夏頃の北アルザス。ザール川の風景描写から、ストラスブールの北西、アルザスのロレーヌ寄り、ドイツ国境は目と鼻の先の所と考えられる小さな村が舞台である。

日本でも戦前からよく知られた物語で、アルザスというと「ああ、あの最後の授業の舞台」という人は多い。私も、アルザス人なら当然誰でも身内の話として知っていると思っていた。

ところがある時、大学教育も受けた若いアルザス人と彼がこの物語を知っているという前

提で話していたら「何それ？」という顔をされた。ドーデのような古典は若い者は読まないのかと思ったが、興味があったので『最後の授業』のコピーを用意し、周囲の年齢・教育程度様々な約30人余りのアルザス人に見せて回ったところ、ほとんどの人は知らなかったし、興味も示さなかった。

調べてみるとドーデは、代表作の短編集『風車小屋便り』からの一編『スガンさんの雌山羊』が小学校の国語の教科書に載っている、すなわち国によって読むことを薦められているいわば国民作家、日本でいうと夏目漱石や芥川龍之介のような存在であることが判った。それでも『最後の授業』は知られていないのだった。

アルザス語も話すアルザス人の秘書さんは、「このジャポネはドーデが好きだからこんな質問するのだ」ととり、「私もドーデは大好きだ」と言って、私の語学勉強用に、と自ら『スガンさんの雌山羊』の仏・英・独の対照逐語訳を作ってきれいにタイプしてきてくれた。その秘書さんも『最後の授業』は知らなかったし、たいして興味も示さなかったのである。

19世紀半ばのアルザス人は日常生活ではアルザス語しか使っていなかった。フランス語は学校で子供が教わってくる外国語にすぎず、フランスとフランス語への愛着など持っていなかった。特にアベル先生の最後の授業に陪席していた北アルザスの村人たちは、土地柄全員がドイツ語とのバイリンガルで、ドイツのお隣さんとは交流していたであろうが、フランス語は彼らの手元にあった擦り切れた初等教科書の中でしかなく、アベル先生はパリから来てフランス語とフランス愛を押し付けてくる外国語の先生という存在でしかなかった。

多分現代のアルザス人が読んでもアベル先生は「変な嫌な奴」なのであろう、「あのドーデともあろうお方がこんなものを書く筈がない。何も知らない外国人のお前が何てえことを言うんだ、ええっ！！、おい！」という、一寸不穏なトーンの反応も一つならずあった。

『俺が40年間フランス語を教えてきたのに、お前ら野蛮人は品詞の変化すら習得できず、世界一の言語の有難味が分からない』とアベル先生がアルザス人とアルザス語を見下しているととれる箇所があちこちにあるところも極めて不評である一因かもしれない。

アルザス人はフランスとフランス語に憧れ、フランスが好きに違いないというのはパリに代表されるフランス本土の思い込みにすぎず、これは現代でも同じなのだそうである。しかしながら、それでドイツのことは好きということはないらしいのである。